

「浅沼組が技術発表会を開催」

(株)浅沼組（本社：大阪市、代表取締役社長 浅沼健一）は、8月1日、全国7本支店をテレビ会議システムで繋ぎ、平成29年度の技術発表会を開催しました。

開催に先立ち、浅沼健一社長から「IoT、ロボット、ビッグデータ、AI（人工知能）などのデジタル革命による技術革新の流れは、建設業にも押し寄せており、建設産業のあり方を大きく変える可能性がある。一方、建設業界では、人口減少局面の中で、2025年までに生産性を20%向上しなければ将来がない。

建設技術において、この生産性を向上させるのは、一つは先に述べたデジタル革命による技術革新であり、もう一つは現場で働く皆さんが日々の現場活動の中でやり方を工夫し、もっと仕事がやりやすくなるように考え続け、試行錯誤していく「カイゼン運動」である。後者は、バーチャルなデジタル革命に勝るとも劣らない力がある。何故なら、デジタル革命による生産性向上は恐らく他社でも早い遅いはあれ、導入されるが、「カイゼン運動」による生産性向上は当社独自の技術となるからである。このような独自のカイゼン技術を多く積み重ねることで、当社はもっと強くなれる。」との挨拶がありました。

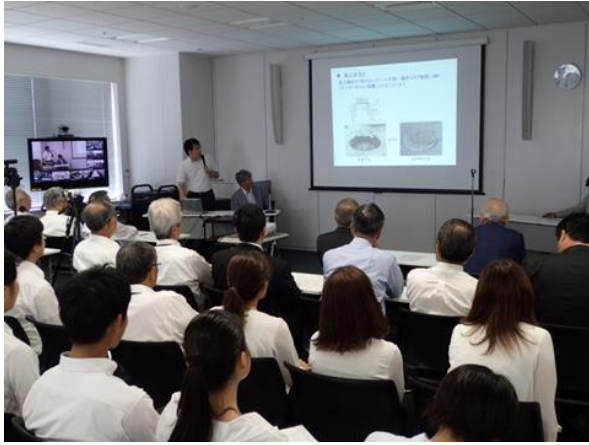
引き続き、社員投票及び審査によって選考された発表者による施工技術、開発に関する5演題の発表、およびBIM推進室からの特別発表がありました。これらの模様はメイン会場である大阪本店から、東京本店、北海道、東北、名古屋、広島および九州の各支店へテレビ会議システムによって同時配信されました。発表会には、全店で約300名の社員が参加し、発表者との間で活発な質疑応答が行われました。締めくくりとして、弊社の社外取締役である元NHK解説主幹でジャーナリストの齋藤宏保氏による基調講演（演題：「文科系の人間がなぜコンクリート工学界の常識を覆すことができたのか」）が行われ、「一人一人が『流れを変えたい』という思いを持てば、それは実現出来る」とのメッセージが送られ、盛況のうちに終わりました。



社長挨拶



社長賞の授与



社長賞の発表



優秀賞の発表



齋藤宏保氏 基調講演



東京会場

○ 発表演題

発表演題	
1 (社長賞)	浅沼式杭頭接合部定着工法 (A-PHA 工法) による施工の合理化
2 (優秀賞)	夜間工事での東名高速道路跨道橋の一括撤去
3 (優秀賞)	プレストレストコンクリート梁構造物の解体工事
4 (優秀賞)	岩盤を支持層とする杭基礎の施工
5 (優秀賞)	海外での施工報告 (CM 業務)
特別発表	生産性向上を目指した BIM の活用

お問合せ先

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町3丁目24番1号

(株)浅沼組 技術研究所

立松 和彦

TEL 072-661-1620

FAX 072-661-1730